

## 第9回尾張旭市子ども・子育て会議会議録

- 1 開催日時  
平成27年3月18日(水)  
開会 午後3時00分  
閉会 午後4時00分
- 2 開催場所  
尾張旭市役所 3階 講堂2
- 3 出席委員  
林陽子、石原靖章、加藤多美、田中善廣、藤田佳代、村瀬美根代、竹門宏美、  
秋山浩二、恩田路子、高橋秀雄 10名
- 4 欠席委員  
金森俊輔、小川百合子、近藤信綱、秋田啓子 4名
- 5 傍聴者数  
0名
- 6 出席した事務局職員  
健康福祉部長 若杉浩二、健康福祉部次長 吉田和仁、  
こども課長 萬谷久幸、こども課指導保育士 松浦琴美、  
子育て支援室長 阿部智晶、こども課長補佐兼こども未来係長 松原芳宣、  
こども課こども係長 浅野哲也、こども課保育係長 加藤貴之、  
こども課こども未来係 田中友美子、株式会社ぎょうせい主任研究員 馬場敏
- 7 議題等  
尾張旭市子ども・子育て支援事業計画について
- 8 配布資料  
・尾張旭市子ども・子育て支援事業計画・・・資料1  
・答申書(写)・・・資料2
- 9 会議の要旨

健康福祉部長	<p>皆さま こんにちは。</p> <p>本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、ただ今から、第9回尾張旭市子ども・子育て会議を開会させていただきます。</p> <p>わたくしは、健康福祉部長の若杉と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお、本日の会議につきましては、お手元に配布しております次第に従い進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>現在の出席委員は10名でございますので、過半数の出席をいただいております。従いまして、本会議条例第6条第2項の規定による定足数に達しております。</p> <p>なお、この会議は公開しておりますので、会議の傍聴席を設けてございます。また、会議録を作成し、市ホームページ等で公表をまいりますので、委員の皆さまにはご了承いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、本日の議題に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料の確認)</p> <p>それでは、以降の会議の進行につきましては、議長であります林会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
会長	<p>それでは、これより、私が会議を進めてまいりますので、委員の皆さまよろしくようお願いいたします。</p> <p>それでは、早速議題に入りたいと思っております。議題は、事業計画に関して、でございます。</p> <p>前回の会議におきまして、計画案のご承認を頂いておりますので、内容について最終確認となります。</p> <p>事務局より修正した箇所等があれば、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料1により説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>よろしかったでしょうか、本会議で作成した計画として答申を行います。</p> <p>それでは、これから答申を行いますので、事務局で準備をお願いします。</p> <p>ここで、5分間程度の休憩とします。</p>
会長	<p>それでは、会議を再開いたします。</p> <p>答申を行うにあたり、水野市長にご出席いただきましたので、私から、市長に答申をさせていただきます。</p>

	(会長から市長へ答申)
事務局	市長からごあいさつを申し上げます。
市長	<p>皆さま、こんにちは。本日は、子ども・子育て支援事業計画の策定について答申をしていただき、大変ありがとうございました。委員の皆さま方におかれましては、長い期間にわたり、お忙しい中、熱心にご審議いただき、計画としてまとめていただきました。この場をお借りしまして、厚く感謝申し上げたいと思っております。</p> <p>尾張旭市としましては、何年も、予算の発表の度に子育て支援の充実に力を入れていきますと申し上げてまいりました。今後数年を見ましても、来年度の予算案を見ましても、かなり拡充等が見られております。特に、何年ぶりかは分かりませんが、市立の保育園の建て替えをいたしまして、延長保育を導入するとともに、子育て支援センターを併設いたしました。放課後児童クラブにつきましても、ただ今の答申の内容にもございましたが、午後7時まで預かってほしいという要望が大変強いとのことで、来年度から一部拡充をしていくということになっております。</p> <p>こうしてこの会議をやっている間にも、保育需要や児童クラブの需要は急速に高まっているという状況がございまして、未満児の保育枠を広げても、追いつかないくらいの希望が増え、ちょうど調整をしているところではありますが、入れなかった、抽選で漏れたという方から苦情をいただいているという状況でございます。児童クラブにおきましても、国の制度が変わり、6年生まで対象学年を拡大するというところでございますが、数字を3から6にするのは非常に簡単です。しかし、単純にそうすることにより、全員の希望が叶えられるかといえ、なかなかそういうわけにもいきません。</p> <p>私が盆踊りなどに行くと、なぜ名古屋市のようなトワイライトスクールをやってくれないのかと聞かれます。では、学生のバイトでもよろしいでしょうかとお伺いしますと、ダメだ、一般の方に預けるのは不安でたまらない、このご時世だしと言われます。預けたい方のお話も大変よく分かります。今回の3月議会でも大変厳しいご指摘といたしますか、ご要望もいただきました。本気度はどうなのかと、これだけ国が女性の活用と言っているのに、市の本気度はどうなのか、処遇が悪いのではないかということも言われましたが、実は皆さま方が、子どもを預けて安心して働ける環境というのは、預かる方にとっては大変で、働きながら子育てするには一番働きづらい環境となっております。自分の子どもをどこかに預けて、夜7時まで他のお子さんを預かるというの</p>

	<p>は、非常に難しい時代になってきております。そういった両面を考えて、施策を打っていかねばならないと思っております。保育園をつくるのは、お金をかければできるものです。箱をつくるのはある意味簡単なことで、その中のソフトになる部分、ベテラン保育士を簡単に育成しようとしても無理ですので、そうした保育士が尾張旭市役所に入って、数年で辞めていくことや、こんなことでは他の子を預かっていられないなど思うことがないように、両面への施策を打って、働きやすく預かりやすい環境をつくっていかねばならないと思っておりますのでございます。</p> <p>いずれにしましても、今後しばらくは人口が減っていきますが、子どもが減る中でも保育需要というのは、しばらくは上向きの状態が続いていくと思っておりますので、皆さんにご協力をいただき、この計画を見ながら、この計画に沿えるような努力をしていきたいと思っております。</p> <p>最後になりますが、委員の皆さまにおかれましては、今後とも本市の子ども・子育て支援事業に一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます、私のあいさつとさせていただきます。</p> <p>この度は誠にありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>この会議は平成25年11月に第1回の会議を開催し、水野市長から諮問を受けました。その後、本日の答申までに9回の会議を重ねてきました。委員の皆さまにはお忙しい中、多大なご協力をいただき厚く御礼申し上げます。計画の作成に関しましては、本日が最後となりますが、今後は、この会議を通じて、計画の進行管理をはじめ、尾張旭市の子育て支援に関する、調査・審議などの役割を担うこととなりますので、引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>長期間に渡って開催された、子ども・子育て会議も、市長から諮問を受けた計画の作成については、これで終了となります。</p> <p>せっきくの機会でございますので、委員の皆さまから、市へ対するメッセージなどがあれば頂きたいと思っております。</p> <p>加藤委員お願いします。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>今、市長から、働きやすいという言葉がありましたが、ちょうどうちの園も、今日処遇改善費を出したところで、ありがとうございました。国のほうからではありますが、具体的に保育園の現場で働きやすくなっていけば、保育園が良くなっていくし、子どもにとってもそこに預ける親にとっても、良いと思っております。今のお言葉を聞いて、心強くなりました。ありがとうございました。</p>

会長	ただ今の加藤委員のご発言に対して市長さんから何かございますか。
市長	<p>3月議会でも子育て支援関係の質問が出ました。その答弁をつくる中で、1つ1つどのような方向性で答弁するか決めるのですが、私のたつての希望で、保育士の確保が難しいということを経数字で入れたいということを経申し上げて、代表質問の中でそういった答弁をいたしました。</p> <p>ここ数年で採用試験の受験者が減っております。来年から保育士として働く方の採用試験につきましては、20数人しか受けておりません。誰でも良いのであれば、資格を持っている人を採ればいいという話になりますが、例えば今、待機児童が本当は200人多いのではないかという話もございます。そこで、例えば40人の保育士がいたとして、全員採用しても足りないという状況が現実としてあります。</p> <p>本当に子どもが好きで保育士になっていただいた人が、尾張旭市役所を受けていただいて、保育士として働いていただくのですが、上の方の人を見ると結婚や出産を機に辞められたり、若い子も働き続けにくい職場だなと思ひ、自分も結婚したり子どもが生まれたら辞めようといった風潮があり、それをなんとか止めたいです。それをある程度、人数でカバーするしかない部分もございますが、そういった意味で保育士につきましては、私としては拡充してきたつもりでありますが、それで現場が完全にうまくまわるかといえは、なかなかそうはいかない部分もございます。</p> <p>尾張旭市役所、尾張旭市の保育園を選んでいただいて、保育士として働ける人の確保が大事ですが、今はどうしても公設民営というのが増えてきておりますので、保育士の取り合ひということも起こってきております。では、「潜在保育士の掘り起こし」と日本語では簡単に言いますが、一度保育士として働き続けられないのだと思ひた方が、もう一度働いてみようというのは、かなりハードルが高いと思ひます。いろいろな手を打ちながら、給料が良ければ良いというものでもないと思ひておりますので、少なくともみんなでカバーし合える体制かなと思ひております。</p>
会長	ありがとうございました。
事務局	恐れ入りますが、市長は、他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、「その他」となります。</p> <p>当会議としましては、市から諮問を受けて、今日まで、かなり忙しく、また内容の濃い議論を交わしてきたのではないかと思います。委員の皆さまから、感想などを簡単に頂きたいと思っております。</p> <p>加藤さん重ねて何かございますか。</p>
加藤委員	<p>制度の変わり目で、保育現場と事務方と多分てんやわんやしていると思います。うちの園でも4月から保育体制をどうしようかという、例年にはない作業と話し合いを重ねているのが現状で、見えない部分はまだあるので、その辺りで他の市の先生たちと話しながら、やっていってはいますが、なかなか難しいなあと思っています。保護者の人にとってはあまり関係がないというか、何それ、法律が変わるんだってというくらいのところで、これから入ってくる人のほうが、大変なのかなあというのと、まだ決まっていない部分が多いので、保育の実際をやっていくにあたって、うちの園としてはちょっとまだ混乱の最中で、わからないところはわからないという状況です。子どもたちは何ら変わらないので、そこはいつも通りですが、事務的なところが、いつも以上になります。ただ自分としてはこういう場に出させていただいて、いろんな方の意見を聞いたことは、とても良かったと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。田中委員お願いします。</p>
田中委員	<p>私は途中からこの会議に参加させていただきました。民生委員児童委員児童部会の前会長がやっていたので、会長の交代で参加しました。実は正直なところ、こういった会議があることも全然知らなかったもので、出てくれと言われて、何これ？という感じでした。尾張旭市ではありませんが、私にも孫がいるので、勉強させていただきました。どうもありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。村瀬委員お願いします。</p>

村瀬委員	<p>例えば、男女共同参画など女性が輝くといったことには、必ず受け皿である保育所や児童クラブなど、どこかでジレンマが起こるくらいの背中合わせの保育の需要が必ずあるのではないかと思います。あとは市の職員もすごく忙しいでしょうけど、お父さんにも子育てを手伝ってもらうような体制とか、または、尾張旭市の中にある会社などが、例えば育休のために少し時間をとるのが当たり前みたいなことに市が取り組むとか、子育て支援というのは、本に書かれているものだけじゃなくみんなの知恵が集まったところで、本当の芽が出てくるのではないかという期待をしながら、ここに来させていただいていますが、着実に進んでいるなということを感じて嬉しかったです。</p>
会長	<p>ありがとうございました。恩田委員お願いします。</p>
恩田委員	<p>私もこのような貴重な会議に参加させていただき、大変勉強になりました。私自身も今、子育てをしている最中でしたので、市でこのように計画がされていることをすごく実感したのと、これから子育てをしていく上で、とても為になりました。市の方がいろいろ悩まれたり、計画されて、いろんな事業を行っているのだと分かりまして、私は実は保育士なのですが、全然働いていないので、保育士不足といわれていることが本当に心苦しくなりました。でも私も悩んでいて、どういうふうなのが私のライフスタイルに合った、それを活用できる方法なのかとか、悩んでいて結局避けてきたのですが、また前向きに考えて、関わっていきたいと思いました。ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。高橋委員お願いします。</p>
高橋委員	<p>私は言いたいことは散々言いつくしています。また、プライベートの話でさっきも少し話題が出ましたが、自分の娘も今度大学に入って、もしかしたら、将来保育士になるかもしれません。親がいろいろとこういう場に出たりしていることも影響しているかなと思います。やはり働いているお母さん方が輝いていけるような世の中になってほしいですし、そういう個人的事情もありますので、先ほどからも出ているように、実際働いている保育士さんも働き甲斐のある良い職場になってほしいなという思いがあります。そして何より子どもたちがのびのびといきいきと育っていけるような尾張旭市になってほしいと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。秋山委員お願いします。</p>

秋山委員	<p>参加させていただきまして、ありがとうございます。企業の立場ということで参加させていただいていると思っておりますが、なかなかうちの会社も尾張旭市に居住している方というのは半分以下でございまして、いろいろな市町村の方がおります。先ほど市長の話にもありましたが、会社として育休などの制度はいろいろあり、実際そういったタイミングになった時に女性社員は休んで子育てをしますが、男性はなかなか参加していないなどといったことを日々悩みながら仕事はしておりますが、一方で、受け皿という意味での公的な保育所などについて、今回参加させていただいて、多々要望がある中で、全てに答えていくのは難しいと思っておりますが、尾張旭市として相当取り組まれているというのはよく勉強させていただきました。最近、社員から、なかなか希望しているところに入れなくて、どうしたらいいかという相談がありましたが、会社としてやれることと、市町村でお願いすること、多分いろいろあると思います。そういったことは当事者にならないと中々わからない人が多いと思います。そういった意味で、会社の中でこういった話は浸透しないのですが、せつかくこのような機会をいただき、参加させていただいたので、一企業ではございますが、いろいろ考えながら活かしていきたいと思っております。いろいろとありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。竹門委員お願いします。</p>
竹門委員	<p>お世話になりました。ありがとうございます。市の職員の思いや、先ほどの市長の思いを拝聴し、また、加藤委員のお話を聞いてつらいなあといつも思っておりましたが、将来的には明るい方向に行くのではないかなと思いつながりながら参加していました。表紙の子どももとてもかわいく、とても良い表紙にできあがったと思っています。「みんなで支え合う」という部分も、私は一部ですが、自分がこの先できることを今後もお手伝いしていけたらいいなと思っています。ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。藤田委員お願いします。</p>

藤田委員	<p>貴重な経験をさせていただきまして、本当にありがとうございました。私自身子どもが3人おり、仕事をしながら3人の子どもを育てている母親であり、一市民であり、今回はPTAという立場でこちらに来させていただいておりましたが、すごく視野が広がったのを感じます。一市民として、思っている要望やこうであってほしいという思いもありますし、それを受けてどのようなまちにしていくかということを考えていらっしゃる事務局の皆さんとか、市長さんの思いにもふれることができ、自分にとってはすごく財産だと思いますし、私は尾張旭で生まれた人間ではありませんが、自分の子どもたち3人が、これから10年20年と経った時に、尾張旭に住みたいな、住み続けたいなと思えるまちづくりは、この支援事業計画が始まった時からそういう思いで始まっているのだなあというのを最近考えるようになりました。これから人口は減っていくのかもしれませんが、自分の育ったまちが住みやすいまちであったという記憶は、子どもたちがまた戻ってきたり、いつまでもここに住み続けることにきつとつながると思います。そういったまちになってほしいな、そういうふうこれから計画がうまく進んでいってほしいなと思います。皆さんのいろいろな思いにふれさせていただき、本当にどうもありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。最後になりましたが、石原委員お願いします。</p>

石原委員

私も前任者から引き継いで、会議の後半部分から参加したので、最初は何もわからず、用語を見て何だ？というところから始まっていきながら、こういった計画を策定していくことにこれだけの大人が関わって、知恵を出し合っているのだということが感じられました。行政の方もそうですし、委員になっている方もいろいろな立場でやっていて、とにかく子どもたちを何とか良くしようという視点で、話しています。それがとても素晴らしいことだと思いました。学校の定員は、子どもたちが入学することにより決まってくるのですが、保育はそうじゃないことがあるということが理解でき、そういった背景を持っている親御さんがいるということ、自分たちも感じながら、子どもたちと接していくことも大事になってくると思いました。自分としてはとても勉強になりましたし、ひとつ計画書という形でできて、これの半分に関われたということが自分の財産でもあるなという気がして、本当にありがたかったです。真摯に意見交換がされている場に立ち合わせていただけたのも良かったと思います。立場上、こういった校長会の会長という立場をいただいておりますが、そういうのを全部は果たせなかったかなと思いながらも、本当に良い会議を経験させてもらいました。今後が大事だと思います。またそういうところで一翼を担っていかなければいけないと思います。ありがとうございました。

会長

皆様のご意見、ご感想をお伺いして、私の中で氷解といたしますか、「こういうことだったんだ」と思ったことがありました。

それは、私は各務原市内にあるキャンパスで保育士さんや幼稚園の先生、施設の先生、小学校の先生を養成しています。明々後日が卒業式になるのですが、卒業すると、学生たちは皆地元に戻りたがります。各務原市の行政の方々も、各務原市で一生懸命育てたのに、皆地元に戻ってしまうのだと言って、残念がってくださいます。私も「各務原市で学んだし、彼氏もできたし、ここで仕事したらいいんじゃないの」と言うのですが、彼女たちあるいは彼らは、「先生、やっぱり地元ですよ」「地元に戻りたい」「地元で保育士になりたい」「地元で教員をやりたい」という子がほとんどです。

どうしてこんなに地元が良いのだろうと思っていましたが、今、皆様のお話を聞いて、やはり学生たちが小さい頃には多分見えていなかった、地元の人の皆で子育てをしようという思い、それこそ表紙に「みんなで支えあう」と書いてありますが、それぞれの地域が一人ひとりの子どもたちを地域の宝として、行政の方は行政の立場で、親子を支えてくださって、自分が地元で大事にされたという、そういう思いが学生一人ひとりにすごく強いと思います。なので、一生懸命各務原市が育ててくださるのだけでも、卒業式が終わると、地元に戻ってしまうという状況があった訳ですが、今日はこの理由といたしますか、だから学生は地元が好きなのだと思わせていただきました。

先ほど藤田委員が、子どもたちがまた戻ってきたり、いつまでもここに住み続けることにつながるという言葉を使っていたりしましたが、委員の方のご関係の皆さんは尾張旭を本当に良いまちだと思っていただけるのではないかなと思います。これも、事務局を始めとして、委員の皆さんが本当に今日まで力を尽くして、この策定に関わっていただいた賜物であろうと思います。改めて私の方からお礼を申し上げたいと思います。どうもありがとうございます。

事務局からは、いかがでしょうか。

本日は本当にありがとうございました。最後に一言お話ししようと思います。ただ今はちょうど議会開会中ですが、やはり子育てに関する質問がいくつかございました。3月初めに代表質問がありましたが、その話は先ほど市長が自分の言葉で思いを伝えたのではないかと思います。

実は市長はブログを書いておられて、ご覧になった方がいらっしゃるかもしれませんが、先ほど市長が述べた思いが、ほとんどそのまま文章になっております。議会の中で、子育て支援に対する本気度はどうなのかという質問がございました。市は子育て支援に対してどこまで本気で考えているのか、それが見えないからといった質問でした。議会の中では、直接市長がお答えする部分と、私がお答えする部分があるのですが、議会の中で、答弁ではなるべく言葉は短く簡潔にした方が良いといわれております。そうなりますと、先ほど市長が述べたようなことなど、我々の思いがなかなか伝わりません。こういった会議も9回目となりますが、直接お尋ねいただければ、この会議の中ではこうだとか、こういう思いを抱いているだとかをお伝えできるのですが、議会の場合はなかなかお伝えできません。やはり我々もいつも議会に行くとジレンマに陥りますし、市長も特にそうだと思います。思い入れが強ければ強いほど、ぜひお伝えしたいという思いがございましたので、市長はブログの中で「こういった質問があって、私はこう考えていますよ」「今日こんなことがあって、それについて私の考えはこうですよ」といったものをブログの形で発信しております。

3月13日のブログをご覧いただきますと、先ほど市長が述べたことが書いてあります。目に見える形でも発信したいということかと思えます。市長は毎日、1日1ページは必ずブログを書いております。少々更新が遅れる場合やまとめて出る場合もございますが、市長がどんなことを考えて、市はどのように進んでいきそうなのかなというところを、機会がございましたら、ぜひご覧いただけたらと思います。

また、この会議についてでございますが、本日は答申という形で一つの締めができました。いつまでにどうなれば良いということでもないと思えます。実際に、毎年困っている親御さんがたくさんおります。ぜひ励ましの言葉もいただけたらなと思えますが、お叱りやご意見などもございましたら、ぜひお願いしたいと思っております。本当に長い期間いろいろとお話させていただき、私もやっつけて良かったと思っております。本当にありがとうございました。

会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今年度は本日が最後になると思いますが、今後につきまして、事務局より何かございますか。</p>
事務局	<p>委員さんの任期についてお知らせします。</p> <p>任期は2年間となっております、平成27年10月末までとなっております。途中で変わられた委員の方も前任者の残任期間となりますので、委員の皆さま全員が今年の10月末まででございます。</p> <p>また、再任は可となっておりますので、時期が近付きましたらご相談させていただきたいと思っております。</p> <p>なお、次回の会議の開催は、今のところ未定ですが、本市の子育て支援に関する重要案件や新たに小規模な保育事業ができる場合などには、会議を開催することとなりますので、その際には、できるだけ早くお知らせさせていただきます。</p>
会長	<p>本日は、長時間に渡り慎重にご審議いただきありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、第9回尾張旭市子ども・子育て会議を閉会いたします。</p> <p>皆さま議事進行にご協力いただき、大変ありがとうございました。</p>